

第3回大子町地域公共交通会議議事概要

日 時 平成25年2月25日(月)午後3時~4時30分
場 所 大子町役場3階第一会議室

議事要旨

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 茨城県企画課交通対策室長紹介及び挨拶

4. 議事

<協議事項>

地域の实情に即した輸送サービスに関する事項について

- (1) アンケート調査結果について
- (2) 県内市町村が運行するデマンド交通について
- (3) 大子町の公共交通の現状について

資料に基づき、事務局から説明。

会 長：本日の会議で皆様から意見・課題を頂き、それらに基づき町長を含めまして、内部で課題整理し、対応の方向、軌道修正するかしないかを含め、次回会議で町の考えを示せればと思っております。

主な意見・課題

- ・各種交通事業があり分散化している。各事業を相互に有効活用できないか。
- ・大子町の地理上、乗合いタクシーを効率よく運行するのは難しいのではないか。
- ・今ある事業にデマンドをプラスする形だが、財源的に大丈夫なのか。
- ・各種事業の精査を検討すべきではないか。
- ・今回のアンケートは無料バスの利用者なので、対象者を広げてアンケートを実施すべきではないか。
- ・公共交通は鉄道と路線バスであり、その代替としてコミュニティバスなどがある。乗合いタクシーを導入したことで財政が厳しくなり、大子町から路線バスが無くなってしまおうかと心配している。町としての将来ビジョン、既存の事業のあり方、効率の良い公共交通の見直しを行うべきではないか。
- ・乗合いタクシー導入なら、対象者を高齢者に絞ったほうが良いのではないか。
- ・資料を見る限り大子町の交通対策は充実している。そこに乗合いタクシーを導入するという話だが、どう活用するのかが見えてこない。
- ・乗合いタクシー導入に際し、登録制にするのであれば、高齢者生き生き外出事業の助成額を多くしたほうが良いのではないか。

・乗合いタクシーを立ち上げるより，助成券を配布したほうがコスト的に安く済むのではないか。

- ・高齢者は登録や予約といった手続きを踏むのが面倒なのではないか。
- ・タクシーと路線バスで使える共通の助成券に出来ないか。
- ・大子町のどの地域に交通弱者と言われる方がいるのかを把握してほしい。
- ・どのようなサービスで移動権の保障が出来るのかを検討してほしい。
- ・路線バスの維持に関し，高齢者や通学者などの人達がどのような使い方をしているのか，今の交通体系で良いのかを再検討してほしい。

5 . 閉会